



# ホルムズ海峡という地名を久しぶりに聞きました

ホルムズ海峡でタンカーが襲撃される!という事件が六月に起きました。

いやあ。ホルムズ海峡という地名を久しぶりに聞きましたなあ。若い世代にとっては、あまり聞きなれないことばかもしれない。そんな中、一九七三年と七八年のオイルショックの頃は、新聞やテレビで、さんざん見たり聞いたりしたもんです。

「一九七三年のころ、僕は学生でした。大家さんがトイレのトーパーが、店に売ってなくて困ると、なげいてたのを覚えてます。」

そういうえば、下宿先は東京二三区内なのに、トイレは共同、和式で、しかも水洗ではありませんでした。水洗のところでも、まだ和式が多かったように記憶してます……」

東京のおっちゃんが、青春を回顧してます。

人間、過去を振り返るようになったら、そろそろ老境やね。

よう知られてますが、日本は石炭、石油、天然ガスといったエネルギーの資源を持たない国です。

今、石炭はオーストラリアやインドネシアから、天然ガスはオーストラリアやマレーシアから、そして石油は、サウジアラビアやアラブ首長国連邦などの中東諸国から、来てるそうです。こういった資源をタンカーなどで運んで、日本で加工して、

都市ガスやガソリンにしてモノを生産したり生活したりして、僕らは暮らしを立ててるわけです。

そやから、どこかで資源が入ってこなくなったら、暮らしがなり立たないようになってます。

中でも石油は、遠く中東から運んでくるものが多いから大変です。

**いけずされて通らせてくれなかったらどうします？**

ホルムズ海峡も注意しないといけませんけど、ちょっと前から南シナ海で、中国が島々の領有権を主張して問題になってます。中国が「ここらは元々、俺のもんやから」と言うのを、フィリピンやベトナムやインドネシアが「なに言うてるねん。われらは昔から、この海でさかな取ってたぜ」と反論して、もめます。

周辺諸国のいざこざも大変ですが、日本にとっても、南シナ海がどっかの国のものになったら、石油運ぶのに、いちいち「すみませんなあ。通らせてもらいます」と許可を得ないといけなようになります。

そんな大変でっせ。まして領海権もってる国と仲悪うなっ



●(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)

1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。



て、いけずされて船を通してくれないようになったら、どうします?

オイルショックはそんな大事な教訓でした。

このときは、海のルートが使えないようになったのではなくて、戦争がきっかけで、特に一九七三年は、原油の値段が三か月で四倍にもなるという事態を引き起こしたんです。

それで、不安になった消費者心理とでも言うんでしょうか。東京のおっちゃんの回想のように、なぜかトレットペーパーや洗剤が、買いだめられて、スーパーからなくなっちゃったんです。

その一九七三年に生まれたお子さんは、今はもう四六才になりますか。

一〇年ひと昔と言うなら、いつ昔ぐらいになりますなあ。しつかり覚えてるのは六〇代ぐらいからですか。

**縁を忘れてないからこそ  
イランは日本に友好的なんでしょう**

僕は、ホルムズ海峡もそうやけど、中東とのつながり、特に今回のタンカー攻撃の関係者、と目されているイランとのことを考えれば、日章丸という船を思い出します。

タンカー攻撃があったころ、ちょうど、日本の首相として実に四一年ぶりに、安倍さんはイランを訪れていました。

四一年ぶりです!石油の仕入れ先に。

それにもかかわらず、イランのえらいさんたちは、友好的に迎えてくれたと報道がありました。

イランは、

核の問題も

あり、欧米

諸国とはあ

まりうまく

いってませ

んが、日本

とは友好関

係をむすんでいます。

その理由の一つが日章丸です。第二次世界大戦が終わって間もないころ、イランの石油は、イギリスの石油会社が支配してました。それを、民間の出光興産がさまざまに工夫して、国内外の世論を味方につけて、イランから石油を日本まで持って来たんです。

時まさに一九五三年。いやあ、敗戦国にとっては痛快な出来事でした。出光の社長は、出光佐三さん。小説「海賊とよばれた男」のモデルになった方です。

その縁を忘れてないからこそ、イランは日本に友好的なのでしょう。

それにしても出光さんや、前に扱った白洲次郎さんといった傑物に、戦後の日本は、支えられたんですなあ。それにくらべ今は……。

「昔を懐かしがるのは、年老いたせいや、と誰か言いませんでしたっけ?」

東京のおっちゃんが、最後にイヤミ言うてます。



●海賊とよばれた男 (下) (百田尚樹著、講談社文庫) では日章丸事件が